

会議の経過	
開会年月日時刻	令和7年8月26日（火）午後3時00分
閉会年月日時刻	令和7年8月26日（火）午後3時52分
会議の場所	館林市役所 501AB会議室
会議次第	
1. 開会	
2. 会議録署名委員の指名	
3. 前回会議録の承認	
4. 教育長事務報告	
5. 議事	
	議案第42号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく 「点検及び評価」について
	議案第43号 令和7年度教育費補正予算について (非公開)
6. その他	
7. 閉会	

会議の経過

出席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	栗原昇 井上美智子 堀口哲哉 中村美江子 木戸浩之
欠席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	
提案説明のため 出席した者	教育長 教育次長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 参事兼学校教育課長 文化振興課長 スポーツ振興課長 向井千秋記念子ども科学館長 図書館奉仕係長 総括係長 書記	中村美江子 戸叶俊文 木村和好 森田秀利 平井智久 中村豊 田部井修 田中洋子 原幸恵 岩瀬美花里 横山瑠璃子

## 会議の経過

教育長	<p>それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後3時00分)</p> <p>本日の日程は別紙のとおりです。</p> <p>次に、日程第2 会議録署名委員を指名します。</p> <p>今回の署名委員は3番 堀口委員、5番 木戸委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>異議ないものと認め、そのようにいたします。</p> <p>次に、日程第4 教育長事務報告ですが、今回はございません。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。</p> <p>(事務局から「なし」の声あり)</p> <p>それでは今回の事務報告につきまして、質疑がありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、栗原委員。</p> <p>3ページの生涯学習の報告にある、「脱炭素まちづくりP L A Y！」の内容と主な参加者、主催団体について教えていただければと思います。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、生涯学習課長。</p> <p>こちらの事業につきましては、群馬県の環境SDGs脱炭素まちづくりカレッジの講座を活用したものでございます。温室効果ガス排出量半減に向けて、まちづくりを疑似体験するロールプレイングゲーム型の体験プログラムになっております。参加したのは館林高校の生徒15名、館林女子高校の生徒15名で、事務局等含め42名が参加しております。こちらは主催というものはないのですが、地球環境課と連携した事業となっております。地球環境課と連携することで、会場使用料と講師謝礼を県の環境政策課に負担していただけるということで、生涯学習課は特に募集的な業務を行うだけで済む形となっております。以上です。</p> <p>そうすると、県の団体が大元なのですか。</p> <p>元々は地球環境課の方で年2回ほどこういった研修を行うという決まりがありまして、生涯学習課と連携を図ることでその内の1回が消化できる</p>
教育長	
栗原委員	
教育長	
栗原委員	
生涯学習課長	
教育長	
生涯学習課長	
栗原委員	
生涯学習課長	

## 会議の経過

栗原委員 教育長 木戸委員 教育長 木戸委員 教育総務課長 教育長 教育総務課長 木戸委員 教育長 堀口委員 教育長 堀口委員 生涯学習課長 教育長 生涯学習課長 堀口委員 教育長 井上委員 教育長 井上委員 生涯学習課長 教育長 生涯学習課長	ということで、地球環境課の方から県へ講師依頼をいたしまして、指導に来ていただくという形になっております。 ありがとうございました。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、木戸委員。 2ページの講演会に関することについて、4月20日と25日に行う後援事業について、対象者や内容を教えていただければと思います。 はい、教育長。 はい、教育総務課長。 こちらは小学生とその保護者を対象に行う事業です。内容といたしましては、職業についていろいろ親子で学び、知るきっかけづくりをハロまるカードというものを使いながら行うというものでございます。以上です。 ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、堀口委員。 3ページです。7月24日に行ったユネスコサマースクールの内容と参加者について教えてください。 はい、教育長。 はい、生涯学習課長。 こちらにつきましては、ユネスコの基本理念を伝えるとともに、施設見学での学び・体験を通して視野を広げることを目的としております。今回は栃木県の防災館、宇都宮市環境学習センター、大谷資料館を見学しました。参加者は児童41名となっております。以上です。 ありがとうございました。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、井上委員。 4ページ、9月6日の筆跡診断講座の内容を教えてください。 はい、教育長。 はい、生涯学習課長。
	こちらは野辺集会所事業になっておりまして、参加者が書いた文字を診断するという内容になっております。認知症予防や金運アップにつながる文字の書き方を学ぶものです。文字のつながり方や接続の仕方によって少し

## 会議の経過

井上委員	怒りやすいなどといったものが文字に表れるらしいのですが、それを診断するそうです。現在の申込みは意外と少なく、まだ3名ほどとなっておりますので、周知を広げていきたいと思います。以上です。
教育長	ありがとうございました。
栗原委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
栗原委員	はい、栗原委員。
	同じく4ページ、9月19日に開催予定の青少年問題協議会ですが、どのような内容を話し合うのでしょうか。また、参加される団体、青少年問題協議会で中心となる議題を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	申し訳ございません。資料を間違えて持ってきてしましたので、後ほど回答させていただければと思います。
栗原委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、生涯学習課長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	4ページに9月14日の市P連事業「みんなで楽しむミュージカル」が第1回、第2回とあります。多くの方が参加予定だと思いますが、こちらの内容について教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは題名のとおり市P連事業となっておりまして、ミュージカル鑑賞を通して家族皆で過ごす時間を大切にするとともに、PTA活動の楽しさを知ってもらう機会とするために実施するものでございます。公演は全2回ですが、実際には午前の部と午後の部で、内容は美女と野獣の演目となっております。以上です。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	同じく3ページの9月行事について、市民大学講座の定員が500名となってますが、今年の申込みは500名に達したのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。

## 会議の経過

教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	昨日の段階で約330枚となっており、昨年度が400ちょっとでしたので、一応そこは超えたいということで現在様々な形でPRを行っている状況です。以上です。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	4ページ、9月18日の放課後子ども教室の実施場所が館林高校になっていますが、事業の詳細を教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは放課後キッズin西事業になっておりまして、館林高校のレスリング部が指導をする予定になっております。詳細につきましては、まだ今後の打合せがあるので、一応公民館に集合してレスリング部の生徒と一緒にレスリング場へ移動することになっておりますので、初心者向けのレスリング指導という形になるかとは思います。以上です。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	8ページの城沼公民館について、夏休みわくわく教室「クールスタディ」を全部で8回ほど行っていますが、その事業内容と参加した子どもたちの反応を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらはエアコンの効いている公民館の会議室を利用して勉強をしていただくという企画で、元々事前に申し込んでいただいた小学校3年生から小学校6年生の児童13名が参加しております。あわせて、ボランティアの募集を行いまして、中学生から一般の方まで6名のボランティアが参加して学習支援を行う形をとっております。教えてくださる方がおりますので、子どもたちもやはりいろいろと学ぶことが多かったのではないかと考えております。以上です。
栗原委員	関連して、ほかの公民館で利用者の方から「この公民館では実施しないですか」といった声は出でないですか。

## 会議の経過

生涯学習課長	おそらく、元々公民館では基本的に子どもたちが自由に勉強できる環境、もちろん整っていない公民館もありますが、そういったところは開放しておりますので、城沼ではボランティアが学習支援を行ったことがほかの公民館と違う点ではあると思います。今のところ保護者の方から「うちの公民館でもやってほしい」という意見はありませんが、見方によっては放課後子ども教室につながるものもあると考えられますので、今後ほかの公民館でも、夏休みに限らず子どもたちが平常時公民館を利用してそこに地域の方が少しずつ学習支援を行うという形が整っていければと考えております。以上です。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	14ページ、児童生徒の不登校状況についてです。例年4月に新年度が開始しまして、人数が少しずつ増えていき、7月は登校日も少ないとこので減少傾向にあると思いますが、今年度に限っては増加しているようでした。何か考えられる要因があるのかというところと、夏休み中の不登校児童生徒に対して行っているケア等を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	明確な要因というのはわからないのですが、おっしゃるとおり毎年7月は6月に比べると減っております。今年度の7月は、新規で小学校が2名、中学校が2名の計4名でした。主な理由といたしましては、学校生活に対してやる気が出ない、生活リズムの不調に関する相談というところで増加しております。また、夏休み中の児童生徒へのケアはいくつかあります、1人1台端末を用いたオンライン登校日の実施や、ロイロノートを活用した生活記録を毎週月曜日に提出してもらっている様子から、登校日に参加しなかったり、生活記録ノートの提出がなかったりなど気になる児童生徒には家庭連絡をしたと聞いております。その中で、実際に問題の早期発見・早期対応につながった事案も中にはございました。市のスクールカウンセラーの相談日の設定も行って、相談するようにしております。また、夏休み終了の1週間前、保護者へのアンケートや夏休み中の様子に関わる心配ごとの相談などを行っている学校もございます。各学校で様々な取組を通して、夏休み中も子どもと学校とがつながりを保てるようにしております。夏休み中ではありませんが、夏休み明けには心の健康観察の実施と、

## 会議の経過

	それに伴う二者面談を全児童生徒に実施することで、子どもたちも不安や悩みを解消しながらスムーズな2学期のスタートを切りたいと考えております。以上です。
木戸委員 教育長	ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひいたします。
井上委員 教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
生涯学習課長 教育長	はい、井上委員。 5ページから8ページにかけて、4館でそれぞれ陶芸教室を行ったようですが、その内容について教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
井上委員 生涯学習課長	はい、生涯学習課長。 それぞれの館で陶芸教室を行っておりますが、郷谷と渡瀬に関しては少年少女教室の一環で、六郷と城沼に関してはいわゆる夏休み企画ということで例年の恒例行事として開催しております。目的としましては、もの作りを通して想像力を養う、感性を育む、世代間交流、居場所づくりのきっかけなどです。事前に土作りの準備等で主事や指導員も大変なのですが、いろいろ頑張って開催しております。
井上委員 生涯学習課長	窯などはどうされているのですか。
井上委員 生涯学習課長	公民館によっては電気窯の所もありますので、どうしても焼く温度などはある程度限られています。
井上委員 生涯学習課長	ということは、各公民館に窯を常設できるということですか。 元々公民館を設置する時に大体造られておりまして、三野谷は取り壊す前には一応釜があったのですが、窯を修理できる業者の方も少なくなってきたことと、どうしても買い替えの時に高額になってしまいうことで、現在の三野谷には窯の設置は特にしております。今後、そういう要望があった場合、現実としてはどうしても建物そのものが古くなってきている現状がありますので、空調等の修繕の方をある程度優先してしまうところがございます。
井上委員 生涯学習課長	もし、例えば三野谷公民館で陶芸教室をしたいということになった場合は、焼きの工程はほかの公民館にお願いする形になるのでしょうか。 その辺りは当然空いている時間等があれば、公民館とのやり取りの中で連携を図れるかと思います。ただ、私もあり詳しくないものですから、例えば三野谷から結構距離がある所まで運ぶとして、安全に運べるのかどうかというところまではわかりかねますが、基本的な連携は可能だと思います。

## 会議の経過

井上委員 教育長 堀口委員 教育長 堀口委員  生涯学習課長 教育長 生涯学習課長  堀口委員 教育長 栗原委員 教育長 栗原委員  学校教育課長 教育長 学校教育課長  栗原委員 学校教育課長	わかりました。ありがとうございました。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、堀口委員。 4ページ、9月26日のCAPおとなワークショップの内容を教えてください。 はい、教育長。 はい、生涯学習課長。 こちらのワークショップにつきましては、人権教育を推進する指導者及び関係者が、今後啓発活動や各種事業を推進する中で、その資質向上を図るために実施するものでございます。CAPとは、子どもたちがいじめや虐待、性暴力などから自分を守るために人権教育プログラムとなっております。今回、子どもたちが安心して過ごせる社会を実現するために大人ができることについて、ワークショップを通して考えるという内容になっております。以上です。 ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、栗原委員。 13ページ、学校教育課の後援ですが、10月4日に行われるおおらか青年会議所主催の事業内容と、団体についていただければと思います。 はい、教育長。 はい、学校教育課長。 まず内容ですが、中学生を対象とした近隣高校の説明会になっております。公立が6校、私立が2校、通信制高校が1校と、計9校が参加する説明会になります。団体ですが、大泉町、千代田町、邑楽町の3町で20歳から40歳の青年が集う青年会議所になっております。取組などを見ますと、わんぱく相撲や邑楽町シンボルタワーのイルミネーション、異業種交流会などの活動を通して明るく豊かな社会を目指すことを目的に活動している青年会議所となっております。今回後援した事業は創立45周年記念ということで、高校の説明会を実施するということで後援しました。以上です。 高校の説明会とはまた違う取組なのでしょうか。 概要を見ますと、高校の研究事業発表や部活動の発表など東部地区の高校について説明する取組になっております。
--	---

## 会議の経過

栗原委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	16ページですが、彫刻教室ではどのような作品が作られたのでしょうか。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	指導の都合上、参加者は小学生から大人までの12人と少数ながらも中身の濃い講座だったと思っております。作品には主に3つのタイプがありまして、1つが立体という首から上の顔部分の像を作るもので、立体的な恐竜や電車を作っている小学生もおりました。それからレリーフという、板に粘土を貼り付けて作品を作り上げるもので、猫やゴジラなどを小学生が作ってくれました。3つ目が、木彫という木の彫り物です。大人の方が作るのですが、カエルや首から上の像の作品などが出来上がりました。今回の作品は11月に館林市美術展の方に出品していただく予定となっておりますので、機会がございましたらぜひご観覧になっていただければと思います。以上です。
井上委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	12ページの学校教育に関するところで、発達障がい研修会と夏季職員研修会の内容を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	まず発達障がい研修会ですが、教職員が130名ほど参加した研修会になります。子どもの発達科学研究所の所長さんを講師に招いて、特別支援の教育の充実に向けた研修を行いました。環境は行動に影響を与えるということで、教師や学級集団、保護者、そして本人をどのように整えていくことが大切なのか、また、感覚の特性や子どもの発達などについてもお話をありました。続いて、夏季教職員研修会は悉皆の研修ということで、全教職員が参加した研修になります。2本立てになっておりまして、人権教育の充実ということで、毎年人権の重要課題の一つに焦点を当てて研修会を実施しております。今年度は、インターネットによるいじめの防止について

## 会議の経過

	てお話を伺いました。もう1つは、発達障がいの理解と指導・支援ということで、国の研究機関である国立特別支援教育総合研究所の主任研究員を招いて研修を行いました。この方が実際に特別支援の教員であったため、本当に具体的にわかりやすく障がいの特性や支援の在り方について研修を行いました。以上です。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	15ページ、研究所に関するこの7月相談事業報告の部分について、昨年度の7月来所相談数を見ても、件数で11、ケース数で21だったので、7月の件数が多いという印象でした。相談内容としてどういったことが多いのか教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	3つの相談方法がございまして、電話相談では主に登校渋りや不登校に関する相談がございました。来所相談は主に不登校の相談ですが、7月につきましては登校渋り、また、ふれあい学級への入級相談も例年よりは増加したと把握しております。訪問相談は小学校から依頼がありまして、学習支援に関して訪問相談を実施しました。そのような内容となっております。以上です。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	17ページの9月予定に小学校芸術鑑賞教室とあります。私も8月の中学校芸術鑑賞教室に行ってきました。子どもたちも群響のすばらしい演奏をよく聴いていました。なかなか生の演奏を聴く機会はないのでとても良い企画だと思います。関連して、17ページ、フライハイト合唱団の演奏会を後援するようですが、羽生市で行う事業を後援する理由を教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	2点ほど理由がございます。まず、このフライハイト合唱団のメンバーに館林市民の方が3名ほどいらっしゃるということです。それから、今回は

## 会議の経過

	12月に行う第九の演奏会なのでオーケストラの演奏も入ります。フィルハーモニア東京というオーケストラグループが出演するのですが、こちらに館林市出身の期待の若手チェリスト、木村珠海さんが出演されるということもございまして、少しでも館林市出身の若手アーティストを応援したいということもございまして、後援させていただきました。以上です。そういう例もあるのですね。わかりました。
栗原委員 教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員 教育長	はい、教育長。
堀口委員	はい、堀口委員。
	今お話のあった小学校の芸術鑑賞教室について、内容を教えていただければと思います。
文化振興課長 教育長	はい、教育長。
文化振興課長	はい、文化振興課長。
	まず、9月10日は群馬交響楽団による移動音楽教室になります。3年生と5年生を対象としたものです。例年のことですが、誰もが聞き覚えのある曲を中心に演奏していただいたり、楽器の種類を学んだりする内容となっております。それから、ここは個人的に結構肝だと思っておりますが、クラシックコンサートは拍手のタイミングが難しかったりしますので、鑑賞の仕方、エチケットを体験するというのも大事なことかなと思います。そういった指導も予定しております。また、12日は東京パノラマパーカッションという、世界各国の打楽器を演奏するグループで、4年生と6年生を対象にしております。ラテンの乗りやすい曲を中心に演奏していただいて、子どもたちにも楽器や音楽を学びながら楽しめるステージ、そういうものになっております。前日までにご連絡いただければ当日ご案内いたしますので、お時間ございましたらぜひ鑑賞していただければと思います。以上です。
堀口委員 教育長	ありがとうございます。
栗原委員 教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
	32ページの図書館の処理事務報告についてです。7月26日に開催された読書感想文の書き方講座がありますが、講師の方と講座の内容、また、参加された方の反応を教えていただければと思います。
図書館奉仕係長 教育長	はい、教育長。
	はい、図書館奉仕係長。

## 会議の経過

図書館奉仕係長	読書感想文の書き方講座ですが、講師は館林市在住で、現在他市で教職に就かれている方にお願いしております。講座の内容につきまして、申し込まれたお子さんにあらかじめ『アリとキリギリス』のストーリーが書いてある1枚紙をお渡しして、一番心に残った部分に線を引いていただきます。講座当日に、まず心に残った部分を書き出し、なぜそこが心に残ったのか理由を書きます。次に、違う紙に選んだ部分と同じ体験をしたがあればそれを書きます。さらに、逆の体験をしたことがあつたらそれも書きます。そこから1回目と2回目に書いたものを比べて、自分の考えを更に違う紙に書く作業を経て、最後にきちんと原稿用紙にそれまでに書いたことをまとめます。見本が置いてあるので、それを見ながら読んだ感想を完成させるという書き方の練習となります。実際の宿題はそれを参考に自分でやってみましょうという流れなのですが、アンケート等を見ますと「実際に書けそう」という感想が多かったです。ちなみに、2年生1名、3年生5名、4年生1名の7名の参加でした。やはり自分の体験を書く時につまずいていたのですが、講師の先生がアドバイスすることでいろいろ思い出して、書き始めると結構書けるお子さんが多かった印象です。以上です。
栗原委員	ありがとうございます。せっかくの良い講座なので、7名の参加がもったいないような気がしました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	20ページ、7月16日にスポーツ懇話会とありますが、どのような内容だったのか教えていただければと思います。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	スポーツ懇話会は、スポーツ健康宣言都市として時代の変化に対応したスポーツ振興について、広く市民の意見を反映させるために開催しているものでして、年3回開催しております。委員数は15人以内となっておりますが、現在は14人となっております。構成される委員ですが、館林市スポーツ協会や館林市スポーツ少年団などの関係団体の代表者、学識経験者、公募による市民の方々になっていただいております。任期は2年で、来年度改選を予定しております。今回の7月16日の懇話会は、主に今年度のスポーツ振興課主要事業についてご意見を頂戴いたしました。内容といたしますと、昨年度空調を導入したわけですが、「利用料が上がって当

## 会議の経過

	初はためらいがあったものの、利用者も増えてきており、料金に対して理解して違和感なく慣れてきたと考えられる」といったご意見や、全国大会などに出場する場合に新たに壮行金が出る制度を設けたのですが、「出るようになって良かった」といったご意見を頂戴しております。今年度はあと2回開催予定でして、年末までに1回と、来年3月までに1回の開催を予定しております。以上となります。
井上委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	26ページ、城沼市民プール利用状況の中で、専用使用が前年度対比50.4%となっていますが、何か大きな要因があるのでしょうか。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	専用使用につきまして、こちら水泳大会などでプールを占用することを意味しておりますが、例年7月には中体連の水泳大会と小学校の水泳記録会、この2つの大会を行っておりました。しかし、今年度から小学校の水泳記録会を開催しないことになりました。その小学校水泳記録会がなくなり、大会が1つ減ったことが前年度対比50.4%となった理由でございます。開催しなくなった理由といたしましては、3点ございます。まず1点目といたしまして、近年の夏の気温上昇から屋外活動が制限されることが多くなり、学校での水泳練習の時間が十分に確保できなくなつたことです。2点目といたしましては、水泳記録会が高温の中での開催となり、出場する児童や応援の保護者、役員の教職員の健康・安全が十分に確保できないことです。最後、3点目ですが、群馬県小学校水泳教室記録会が令和7年度以降の開催中止を決定したため、予選会を兼ねていた館林市小学校水泳記録会の上位大会がなくなってしまったことです。以上、3点が理由となります。
木戸委員	わかりました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	28ページの科学館学校利用等という部分で、東京都中央区の小学校が1件利用されておりますが、どういった経緯で利用していただくことになったのでしょうか。

## 会議の経過

向井千秋記念子ども科学館長 教育長 向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。 はい、向井千秋記念子ども科学館長。 こちらは中央区の小学5年生36名が利用されたもので、プラネタリウムも観覧されました。予約時に特に詳しいことは伺っていなかったのですが、学校のホームページを拝見しましたところ、その期間がちょうど赤城の林間学校と重なっています。東京から赤城へ向かう途中でどこか時間を有効に使える場所ということで科学館を選んでいただいたと推測しております。以上です。
木戸委員 教育長 井上委員 向井千秋記念子ども科学館長 教育長 向井千秋記念子ども科学館長	ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 29ページの日本宇宙少年団館林分団の活動について教えてください。 はい、教育長。 はい、向井千秋記念子ども科学館長。 日本宇宙少年団は全国にそれぞれ組織がございまして、群馬県には前橋市と館林市に分団がございます。各分団がそれぞれ宇宙に関する教育普及のため、例えばロケットや飛行機についてなど、体験して楽しみながら宇宙や科学に関する興味を持たせるような活動をしております。団体としては独立していまして、科学館が活動拠点となっております。科学館でイベントを開催する時にはタイアップして一緒に集客していただくなど、いろいろ協力関係を築いております。
井上委員 教育長 井上委員 教育長 井上委員 図書館奉仕係長 教育長 図書館奉仕係長	ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、井上委員。 33ページ、16ミリ映写機の貸出しが1台あったようですが、どのような団体が借りられて、どのように使われているのでしょうか。 はい、教育長。 はい、図書館奉仕係長。 こちらは社会教育団体向けにお貸ししている資料になります。公民館や児童センター等で利用されているのですが、7月は児童センターの方で利用いただいております。この映写機と16ミリフィルムを6本、漫画等の作品を中心に子ども向けの事業で使っていただいたということです。
井上委員 教育長 生涯学習課長	ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。

## 会議の経過

教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	先ほどご質問いただきました、青少年問題協議会についてお答えいたします。青少年問題協議会ですが、こちらは青少年の指導・育成・保護などに関する総合的な施策を実施するため、関係機関相互の連絡調整を図るものでございます。協議内容につきまして昨年度を参考に申し上げますと、館林市警察署からは管内における少年非行の状況について、子育て支援課からは家庭児童相談状況について、学校教育課からは市の生徒指導の取組についてとなっております。また、メンバーの構成ですが、市長、議長、教育長、館林警察署長、区長協議会代表、小中学校の校長会代表、あとは青少年推、市子連、スポーツ少年団の部長、補導員会長、市婦連会長、民児協会長、社会教育委員会の議長ということで、15名で構成されております。今年度の議題についてはこれから検討ということですね。
栗原委員	おっしゃるとおりです。
生涯学習課長	ありがとうございました。
栗原委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	(委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。
教育長	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。
	次に、日程第5 議事に入ります。
	議案第42号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく「点検及び評価」についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
教育総務課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、本市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、公表しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
教育長	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)

## 会議の経過

教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第43号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。</p> <p>該当者については、一時退室を願います。</p>
教育長	<p>【傍聴人 退室】</p> <p>(非公開)</p> <p>【傍聴人 入室】</p>
教育長 教育長	<p>次に、日程第6 その他で何かございますか。</p> <p>(委員等から「なし」の声あり)</p> <p>ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。</p> <p>これにて教育委員会を閉会します。 (午後3時52分)</p>